

国際関係史	履修年次	1	
	単位	2	
皆川 雅樹	配当期	後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>◆【習得→活用→探究のサイクルによる学び】本授業では、国際関係史について、近現代史を中心に学びつつ(習得)、国家や人々の「平和」について考え(活用)、「SDGs」などの関係で自分の意見や疑問を表明できるようにしていく(探究)。</p> <p>◆【「戦争」と「平和」について歴史から学ぶ】政治学における「平和」は「戦争がないこと」と定義されている。また、お互いの「自由」が認め合えないから、人類史は争いの歴史(国家・地域間のコミュニケーショントラブルを記録・記憶として残る)とも言われる。このような歴史を学び、そして様々な視点から「戦争」と「平和」について考えていく。</p> <p>◆【一方的な講義だけではない対話的学びの場】上記のような学びのために、教員による講義のみの授業はおこなわない(各授業で視点提示のための講義[ショートレクチャー]は随時おこなう)。多様な他者との対話(先哲および書籍などの対話も含む)を通じて相違点・共通点に気づくことで学びが深まるので、テキスト以外の資料を読み込むことや他の受講者との意見共有の場づくりを実施していく。</p>			
この科目の到達目標			
<p>①グローバル化社会で生きるうえで必須の常識となる国際関係史について関心を持ち、知識習得につなげることができる。</p> <p>②なるべく客観的な歴史認識を身につけ、現在の諸問題の意味を理解して冷静に考察することができる。</p> <p>③現在にいたる政治・経済・社会などの状況を理解・考察することにより、変動の激しい現在を生きるための思考力・判断力・表現力を身につけ、国際社会の変化に主体的に対応することができる。</p>			
成績評価の方法			
<p>いかなる理由があろうとも、「授業出席」および「提出課題」を重視する。また、「授業外学習」「小テスト」「提出課題」では、歴史の分析を通じて、自分なりに現在および未来を考察できるかどうかをみる。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス国際関係史の授業で学ぶこと	8	第一次と第二次大戦の間ファシズム
2	「国際関係史」とは？	9	第一次と第二次大戦の間世界恐慌
3	「平和」とは	10	第二次世界大戦現代戦争の破壊力
4	日露戦争	11	冷戦①朝鮮戦争
5	第一次世界大戦①スペイン風邪の影響	12	冷戦②ベトナム戦争
6	第一次世界大戦②ヴェルサイユ体制	13	第二次世界大戦とは何だったのか
7	第一次世界大戦とは何だったのか	14	国際関係史と「平和」